

2024年度（第11期）事業報告書（2023年10月1日～2024年9月30日）

A. 概要

B. 人材育成（人づくり）事業

1. 勉強会「てらこや」（別添1）
2. 講師・ファシリテーター派遣
3. ニュースレター「かわらばん」
4. Helping Health Workers Learn 翻訳プロジェクト（別添2）

C. 研究（知づくり）事業

1. 国際協力事業に関する知見の公表
2. 研究者との連携

D. 実践（場づくり）事業

1. 国際協力
2. 地域保健医療派遣
3. 他 NGO などとの連携

E. 事務局業務

1. 事務所
2. 運営
3. 広報
4. 会員

F. 会計（別添3：2024年度（第11期） 収支報告書）

A. 概要

東ティモール事業について、第2フェーズを実施すべく2023年10月にJICA草の根技術協力事業（パートナー型）を応募したが不採択であった。しかしながら、名古屋市立大学看護学研究科とパーツ大学の国際共同研究の研究協力受託機関として活動を継続した。勉強会「てらこや」を6回実施し、ニュースレター「かわらばん」を2回発行した。Helping Health Workers Learn 翻訳プロジェクトについては、AHI（アジア保健研修所）と共同で日本語版の広報と販売を行った。

B. 人材育成（人づくり）事業

1. 勉強会「てらこや」開催

例年どおり年6回開催した。対面とオンラインのハイブリッド開催を基本とし、講師が遠方在住の回はオンラインのみとした。参加人数は平均18人であった。終了後は当法人ウェブサイトとニュースレターで内容を報告した。（別添1）

2. 講師・ファシリテーター派遣

以下のとおり派遣した。

- ・日本福祉大学国際学部（国際開発と障害学15コマ、国際保健15コマ）講師（2023年9月～11月、2024年4月～9月、石本）
- ・愛知県作業療法士会現職者研修（日本と世界の作業療法の動向1コマ）講師（2023年10月8日、石本）
- ・新潟大学医学部（医療ボランティア論1コマ）講師（2023年11月8日、石本）
- ・日本福祉大学国際学部（現代福祉1コマ）講師（2024年5月31日、石本）
- ・東邦大学健康科学部（国際保健論7コマ）講師（2024年9月～10月、石本）

3. ニュースレター「かわらばん」発行

1月（12号）と7月（13号）に発行した。発行部数は各号100部、うち会員および関係者（過去の勉強会講師、連携団体、業務依頼先など）約70件に発送した。13号は在外の関係者にPDFでメール送信した。その他、紙媒体をイベントなどで広報に活用した。

4. Helping Health Workers Learn 翻訳プロジェクト（以下、ほんプロ）

アジア保健研修所（以下、AHI）と共同で監訳した「学ぶことは変わること 自分と地域の力を引き出すアイデアブック」の広報と書籍販売を行った。販売数はPDF版6部（今期のみ）、製本版163部（累計）であった。また、販売促進のためJICAほか国際保健関係団体や個人に広報した。（別添2）

5. その他

名古屋市立大学看護学部のゼミ実習を勉強会に受け入れた。（のべ14名）

C. 研究（知づくり）事業

1. 国際協力事業に関する知見の公表

JICA 草の根プロジェクトで実施した学生調査結果と分析を、日本国際保健医療学会西日本地方会（2024年3月、高知県立大学）で口演発表した。現地業務補助員、BiPH 職員とパーツ大学教員が共同演者となった。

2. 研究者との連携

国際リハビリテーション研究会と連携し、引き続き「在日外国人リハ事例集積プロジェクト」と「在留外国人に対する在宅リハ研究プロジェクト」に参加した。

3. 研究課の活動

今期は研究員登録の希望者はいなかった。

D. 実践（場づくり）事業

1. 国際協力

2023年度のJICA 草の根技術協力事業（パートナー型）に東ティモールプロジェクト（フェーズ2）を提案したが不採択であった。しかしながら、名古屋市立大学とパーツ大学による国際共同研究「小児低栄養の社会的要因の解明：ポジティブな逸脱者の探索と地域データベースの構築」の業務調整と研究補助を受託し、2024年1月から活動を開始した。2024年1月にはプロジェクトの一環でパーツ大学から研究者2名が来日、2月・5月・8月には日本側の研究者（のべ6名）が東ティモールに渡航し研究活動が実施され、BiPHはその進捗管理・調達・調整などを日本と東ティモールで行った。

2. 地域保健医療支援

昨年度に引き続き、愛知国際病院に医師を派遣した（月2回）。

3. 他機関との連携

- ・AHI と協力し、書籍「学ぶことは変わる」の販売と広報活動等を共同で実施した。
- ・名古屋市立大学看護学部の臨地実習「多文化健康支援看護学実習」の受入準備を進めた。
- ・People's Health Movement (PHM)、SDGs Japan のML への参加を継続した。
- ・JICA 社会保障・障害と開発分野プラットフォームに団体会員として登録した。
- ・（公財）愛知県国際交流協会作成の「2024年度版 国際交流ハンドブック」に、民間国際交流団体として掲載された。（<https://www2.aia.pref.aichi.jp/kikaku/j/handbook/index.html>）

E. 事務局業務

1. 事務所

法人登録住所は現状のまま名古屋市瑞穂区田辺通 1-22-2 とし、通常業務は別事務所で行った。別事務所の賃借料や光熱費は無料で、通信費のみ BiPH が負担した。

2. 運営

理事会：計2回開催した。2023年10月（第18回）にオンラインで、2024年7月に（第19回）にメールで開催した。

事務局：事務局業務は、前年度に引き続き、樋口倫代と石本馨2名で運営した。樋口は水曜日午前（事務局）、土曜日（愛知国際病院への派遣）の勤務であった。石本は週3日は名古屋市立大学で受託業務を行い、週1日はBiPH事務局にて業務全般を担当した。

外部委託：決算・納税に関する相談をNPO法人ボランティアネイバーズに依頼した。ウェブサイト維持を引き続きシステム開発会社プロテックに依頼した。また、理事重任登記を司法書士事務所ひららに依頼した。

3. 広報

- ・ニュースレター発行

「BiPHかわらばん」を年2回発行した。7月号については、紙媒体のほか在外の関係者向けにPDFでメール送信した。また、過去のニュースレターを法人ウェブサイトで閲覧できるようにした。

- ・ウェブサイト運営

法人ウェブサイトとFBページを維持した。ウェブサイト維持委託先変更を検討したため、今期に予定していたウェブサイト追加修正は発注しなかった。

- ・メールマガジン配信

勉強会広報を中心に不定期で配信した。

4. 会員

2024年9月末で個人正会員35人（うち終身会員4人）、団体正会員2団体、個人賛助会員2人となった。新規入会は2名、会員資格喪失者は1名であった。また、5名の会員より合計519,000円の寄付をいただいた。会員にはニュースレターを活用して活動報告をするとともに、引き続きサポートと参加をお願いした。

F. 会計（別添3）

今期の収入総額4,238,990円（前年比53.0%）、支出総額1,835,601円（前年比25.2%）だった。今期収支差額は2,403,389円であった。

昨年度との違いについて、東ティモール部門では収入増の要因として2023年8月に完了したJICA草の根事業の業務委託費残額が支払われたことと、名古屋市立大学からの業務委託費があった。また、東ティモール部門では支出減もあったが、その要因としては、JICA事業終了に伴う人件費削減、年度内に現地業務補助員への送金がなかったこと、第2フェーズ不採択により海外出張を実施しなかったこと等であった。

HHWL（ほんプロ）部門では売上額が前年比576%と増加した。ただし、HHWLの売上額は後にAHIと折半する予定であるため、当部門での実質的な黒字額は13万円程度である。

今期末の純資産合計は10,813,306円となった。

別添1：勉強会

回	日時 (方法)	内容	担当	参加人数
1	2023/11/17 (オンライン)	東ティモール事業完了報告	BiPH	計 12 会員 10 非会員 2
2	2024/1/26 (ハイブリッド)	浜松市の在日外国人の生活支援・医療支援 ～カレー屋の皮をかぶった作業療法士の実践～	菅沼映里 (Ammikkal 代表、作業療法士)	計 14 会員 5 非会員 9
3	2024/3/22 (ハイブリッド)	日本における日系南米人の 30 年～生活相談窓口からの定点観測とこれから～	村松紀子 (自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー、愛知県立大学外国語学部非常勤講師)	計 24 会員 6 非会員 18
4	2024/5/24 (オンライン)	能登半島地震の被災者支援 ～リハビリテーションの視点で～	大室和也 (難民を助ける会、理学療法士)	計 26 会員 7 非会員 14 学部生 5
5	2024/7/26 (オンライン)	みんなで走ろう！～ユニバーサルランの取り組みを通じてインクルーシブなまちづくりを考える～	山田規央 (独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院、理学療法士)	計 14 会員 5 非会員 1 学部生 8
6	2024/9/27 (ハイブリッド)	心で感じる多文化共生ワーク～インクルーシブ防災・減災に求められる理想と現実の乖離からマジョリティへのアプローチを考える～	磯貝明美 (Diversity & Inclusion Nishi Tomo、看護師)	計 19 会員 5 非会員 13 学部生 1

別添2：ほんプロ詳細

1. 販売数

- ①PDF 版販売数=6 (今期のみ)
- ②製本版販売数 (AHI および BiPH 直販：今期のみ) =33 (AHI12、BiPH21)
- ③製本版販売数 (Amazon 流通分：2023年4月～2024年4月) =119

2. 広報先 (BiPH 実施関係のみ)

- ①JICA 関係
 - ・ JICA Magazine で書籍紹介 (2023年12号)
 - ・ 協力隊を育てる会 (クロスロード 2023年別冊号で書籍紹介)
 - ・ JICA 二本松青年海外協力隊訓練所 (図書資料室で広報) (2024年8月～)
- ②学会・研究会関係
 - ・ 国際リハビリテーション研究会 (ニュースレターで紹介、2023年11月の学術大会で書籍展示および販売)
 - ・ 日本国際保健医療学会 (2023年11月の学術大会で書籍展示および販売)
- ③NPO/NGO 関係
 - 特筆すべきことなし
- ④その他
 - ・ BiPH 会員、勉強会参加者、つながりのある個人など